



令和2年 亀山市10大ニュース

「亀山市政 今年の10選」について

令和2年の亀山市政における重要な出来事や記憶に残るニュースを「亀山市政 今年の10選」として決定いたしました。

本年は、市制施行15周年を迎える一方、本市に縁ある日本書紀編さん1300年、また、鉄道敷設・亀山駅開業130年という大きな節目の年でありました。この記念すべき年に、兼ねてより発掘調査等を重ねてきました「鈴鹿関跡」が、律令三関の中では初めて、国史跡として指定するよう国の文化審議会の答申がなされたことを大変嬉しく思います。また、新図書館を核とするJR亀山駅周辺地区の市街地再開発事業が新しいステージに進むなど、誠に感慨深い一年でもありました。

一方、未曾有の世界的パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症への総合対策として、一連の「緊急政策パッケージ」を取りまとめ、高齢者等のインフルエンザ予防接種費用の無償化、市立医療センターへの亀山地域外来・検査センター及び亀山発熱検査外来の設置、亀山プレミアム商品券「TAKERU」「たちばな」の販売など、独自の取組を迅速かつ効果的に展開することにより、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図りました。

令和3年は、希望と信頼の「開かれた市政」を基本理念に、新型コロナウイルスの感染拡大防止を着実に進めるとともに、安心の共生社会づくりや多様性ある産業構造・雇用の創出などに積極果敢に挑戦し、幸福実感へとつながる『緑の健都 かめやま』の具現化に向け、全職員一丸となってまちづくりを展開してまいります。

なお、詳細は、別添資料のとおりです。